

「2022年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学医学部3年 坂内佳永

私は韓国語に関して完全に初学者であり、これまで特にK-POPやK-dramaに触れてきたというわけでもなかった。今回のスプリングスクールで初めて韓国語を学ぶということになったわけだが、もちろんハングルも読めないし、単語も一切知らない。3週間で正直自分がどこまで学習できるのか、韓国語の何が分かるのかというのは楽しみでもあり、不安でもあった。実際に韓国に渡航して学習できたことは韓国語学習以上のものであったと思う。3週間の滞在で、韓国の文化や生活、人柄に至るまでよくよく学ぶことができた。驚くこともたくさんあったが、そこに多様性の価値を見出し、自分なりに解釈しながら“韓国”という場所を知っていった3週間だったと思う。実際に延世大学語学堂という場所には世界中から韓国語を学びに来ている学生が集まるため残念ながら韓国人の学生は一切いないため、韓国で韓国学生と交流するというのは難しいが、私は以前参加していた韓国のプログラムがオンライン開催で、会えずにいた韓国の友達が多くいたため、その再会の機会としても今回の留学を活用することができ、韓国の学生と現地で交流するという念願が叶ってよかったと個人的には思う。ただ韓国語は全く話せなかったためそこにもどかしさを感じ、もっと韓国語を話せるようになりたい、勉強したいと思うような大きなきっかけにもなった。そして初学からの韓国語学習というのはとてもハードなものではあったが、新しい言語、新しいすべてのことをまなぶことはとても楽しく、自分自身の視野をずっとずっと広げてくれるという快感を得ることができたように思う。カップヌードル開発者の安藤百福氏の言葉に「人生に遅すぎるということはない」という言葉があるが、20代の私ですらそれを思うし、例えこの先学生という立場でなくなったとしても、そのことを頭に入れて、常に学び続けるような人生を送りたいと強く思った。

そして留学先である延世大学では、韓国語以外の授業にも参加させていただいたが、そこでの各学生の積極性や英語力の高さには度肝を抜かれた。専門用語も多かったことも一因していると考えるが、国際学部では各々自由な考えを持ち積極的に発言・ディスカッションしており、日本の大学との授業形態や関心度の高さの違いも痛感させられたように思う。今回の留学目的としては韓国語学習であったが、どんな場所でも共通言語は英語であると実感し、英語力の必要性や、英語学習に関しての意欲が一段と上がった。帰国後も継続して学習し、機会があればまた留学したいと思う。

저는 한국말을 더 공부하고 싶습니다. 그리고다시 한국에 가고 싶습니다. 여러분 감사합니다.

Mr. Kahm had a time for special lecture about the history or problems between Korea and Japan for us, Kyoto University students. Actually, I am not familiar with the history cause it is not my major, but I am curious about the recognition for Korean about the history of Korea and Japan as a next country to Korea and past coronial country of Korea.

He lectured us about Takeshima/Tokdo, comfort woman, colonial labor and post colonial period. I notice that people believe that they want to believe and convince other people, so problem solving is very difficult in a short period, and unfortunately, it may not true forever. Nevertheless, we never give up making 'argument' and thinking. Though it may just history and past heritage, keeping argument till it solve is our, descendants' mission, I thought. For that I would like to study Korean and Korean culture and keep discussing by myself. It was too short to know and think everything about us, but definitely, was special lecture literally and I am honored having that time to think in Korea, thank you.